

取付説明書



アルパイン 11型ナビゲーションユニット

車種	年式	型式
ヴォクシー / ノア	H26/1 ~ H29/7 (マイナーチェンジ前)	ZRR80W・85W ZRR80G・85G
ヴォクシー ハイブリッド / ノア ハイブリッド	H26/2 ~ H29/7 (マイナーチェンジ前)	ZWR80G
エスクァイア	H26/10 ~ H29/7 (マイナーチェンジ前)	ZRR80G・85G
エスクァイア ハイブリッド	H26/10 ~ H29/7 (マイナーチェンジ前)	ZWR80G

車種	年式	型式
ヴォクシー / ノア	H29/7 ~ R4/1 (マイナーチェンジ後)	ZRR80W・85W ZRR80G・85G
ヴォクシー ハイブリッド / ノア ハイブリッド	H29/7 ~ R4/1 (マイナーチェンジ後)	ZWR80G
エスクァイア	H29/7 ~ R4/1 (マイナーチェンジ後)	ZRR80G・85G
エスクァイア ハイブリッド	H29/7 ~ R4/1 (マイナーチェンジ後)	ZWR80G

当製品の適合情報は2022年8月現在のものです。商品の仕様変更および、車両の仕様変更により予告無く変更になる場合があります。
最新の適合情報は弊社最新カタログ及びホームページ（<https://www.alpine.co.jp/>）にてご確認ください。

ここでの説明は、車両部品の取り外し、キットの取付・配線位置の説明に限らせていただきます。
各製品の取り扱いは、製品付属の取扱説明書をご確認ください。
取り付けの際は、製品付属の取付説明書に記載されている注意事項を必ずお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。

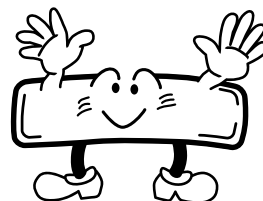
※取り付け作業の前に、バッテリーのマイナス端子を外してください。

1. はじめに

- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げの店より入手してください。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」をお買い上げの店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- RCAコード、ピンコード
家庭用機器の信号の受け渡しに利用される、RCA社考案のコネクター付きコードをいいます。
カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。
白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 取り付け場所について
ディスクやSDカードの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ取り付け場所を設定してください。
- 水平に対して40度以内に取り付けてください。
- 不明な点はお買い上げの店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。

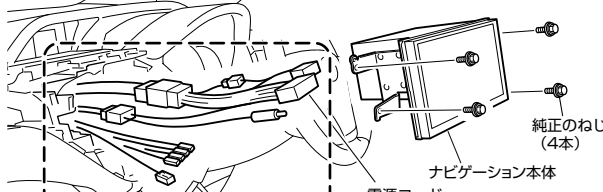


⚠ 注意 ナビ本体取り付け時に以下の点に注意してください。

■配線の挟み込み/配線の処理について

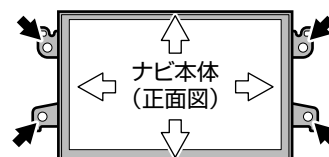
- ナビ本体の上側/背面/下側（斜線エリア）に配線を挟みこまないように注意してください。

- ナビ本体を固定する際、無理に押し込まずに固定してください。
※ナビ本体裏側の配線は必要以上にまとめず分散して取り付けてください。ビニールテープ等でまとめ過ぎるとナビ本体が正しい位置に固定できない場合があります。



■ナビ本体の固定について

- ナビ本体の固定位置を調整し、
- ☐ ナビノーズとパネルのクリアランスが適正である事
 - ☐ ノーズ開閉時に上下が接触しない事を確認してください。



安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の説明

 強制	必ず実行していただく強制の内容を示しています。	 注意	注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。
 禁止	禁止(してはいけないこと)を示しています。		

警告

 強制	DC12Vマイナスアース車専用です 24V車で使用しないでください。事故・火災・故障の原因になります。 取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する 取り付け、配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。また、お客様ご自身による取り付け・配線は、事故・火災・ケガ・故障の原因になります。 説明書に従って、取り付け・配線をする 作業は、手順通りに正しく行ってください。火災・事故の原因になります。 配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をする 感電・ケガの原因になります。 コード類は運転操作の妨げとならないように束ねる ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故・故障の原因になります。 コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する ショートにより、火災や感電、故障の原因になります。 安全のため、パーキングブレーキ線を必ず接続する 交通事故の原因になります。パーキングブレーキ線の接続により、走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。 ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守る 事故・火災・故障の原因になります。	 強制	電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管する 誤って飲み込み、事故・ケガの原因になります。飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。 フィルムアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける 視界不良による事故の原因になります。 取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する 正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因になります。 分解・改造をしない 特にコードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。事故・火災・感電の原因になります。 視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けない 事故・ケガの原因になります。 取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わない 制動不能・火災の原因になります。 助手席エアバッグの近くに取り付け・配線をしない エアバッグの動作を妨げ、死亡事故・ケガの原因になります。 車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけない 事故・火災の原因になります。
		 禁止	
		 禁止	

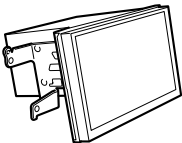
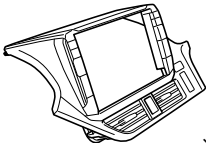
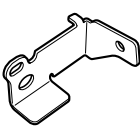
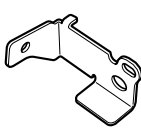
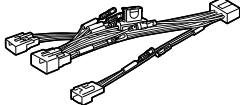
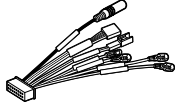
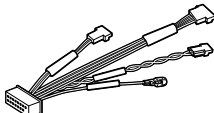
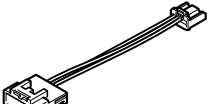
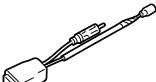
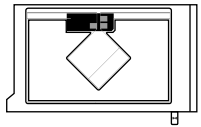
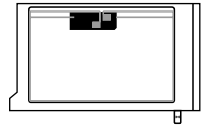
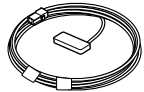
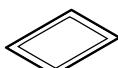
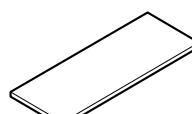
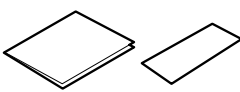
注意

 強制	車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジが緩まないように確実に締め付ける ネジが緩み、事故・故障の原因になります。 コード類を車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさんだり、突起部に当てないよう配線する 断線やショートにより、感電・火災の原因になります。 付属部品を指定通りに使い、確実に固定する 付属の部品以外の使用や指定用途以外の使用は、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れたりして運転の妨げとなり、事故・故障の原因になります。	 禁止	コード類は絶対に途中で切断しない コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因になります。 コード類の配線は、車体の高温部に接触させない 火災や感電の原因になります。 水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けない 火災・故障の原因になります。 通風孔・放熱板をふさがない 火災・故障の原因になります。
--	--	---	--

構成部品

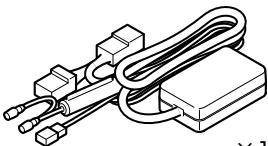
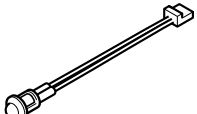
※製品の仕様は、予告なく変更することがあります。

■ナビゲーションユニット (EX11NX)

ナビゲーション本体  ×1	専用クラスターパネル  ×1	サポートブラケットL  ×1	サポートブラケットR  ×1	電源コード  ×1
リモートコード  ×1	USB接続ケーブル  ×1	カメラコード  ×1	ステアリングリモートケーブル  ×1	ラジオアンテナコネクタ変換ケーブル  ×1
GPS/テレビ用フィルムアンテナ  ×1	テレビ用フィルムアンテナ(A)  ×1	テレビ用フィルムアンテナ(B)  ×2	GPS/テレビ用アンテナコード (コード番号③)  ×1	テレビ用アンテナコード (コード番号②)  ×1
テレビ用アンテナコード (コード番号①/④)  ×2	クランプ  必要に応じて使用ください ×6	クリーナー  ×1	音声操作/ハンズフリー電話用外部マイク  ×1	台座  ×1
両面テープ  ×1	CAN接続ケーブル(10P)※  ×1	CAN接続ケーブル(5P)※  ×1	クッションテープ(75mm×250mm)  ×1	説明書、保証書  各×1

※車両の生産時期によって使用する CAN 接続ケーブルが異なります。
(10P) H26/1 ~ H29/7 マイナーチェンジ前
(5P) H29/7 ~ マイナーチェンジ後

■ステアリングリモートコントロールキット (KTX-Y401R) [別売]

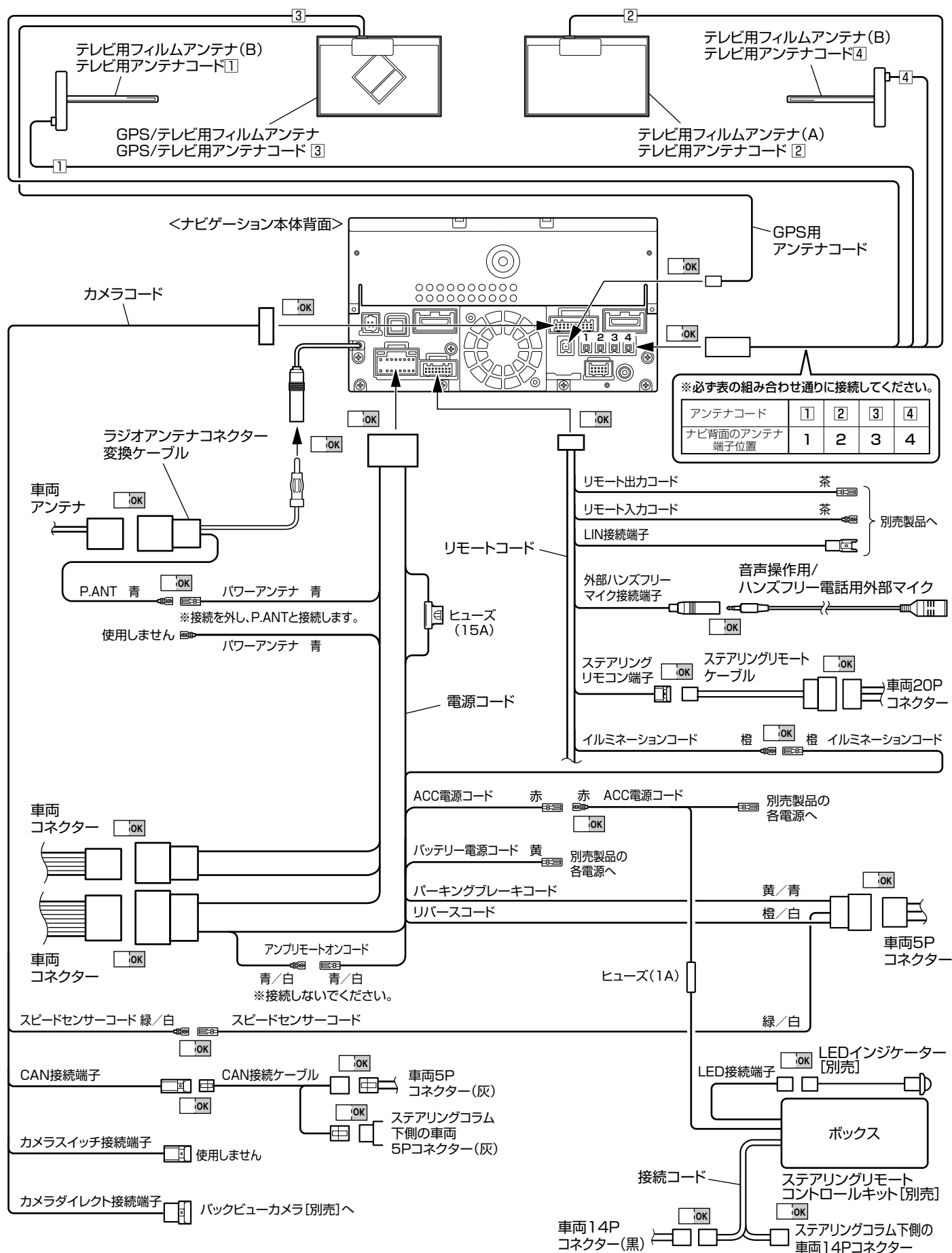
ステアリングリモートコントロールキット  ×1	LEDインジケータ  ×1
--	---

必要工具

プラスドライバー、マイナスドライバー、クリップはずし、10mm レンチ、カッターナイフ、ニッパー、マスキングテープ、ビニールテープ、プライヤー、定規、ドリル (φ 8 mm)、保護メガネ、保護手袋 (軍手など)

2. 基本接続図

(誤接続を防ぐために、接続するごとに ☐ OK に ✓ 点をつけてください)

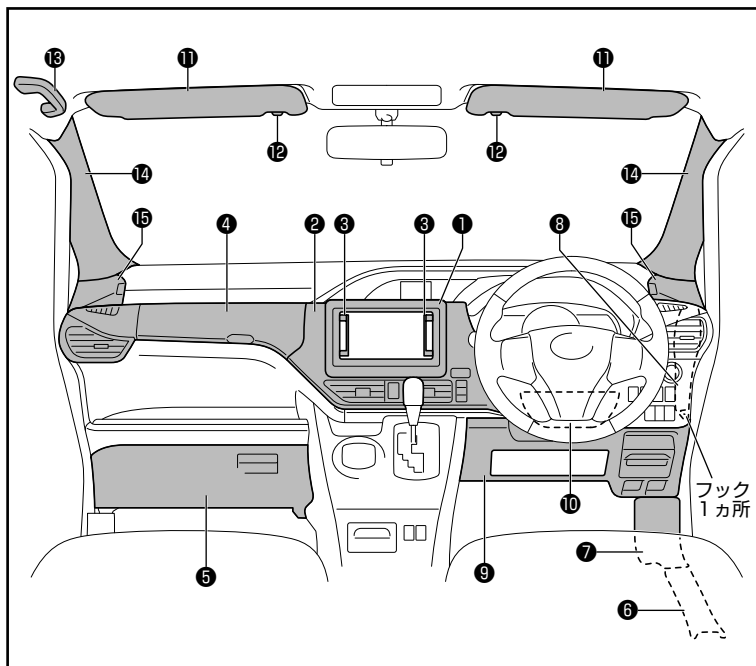


※配線の仕様は予告なく変更することがあります。

3. 取付要領

※作業を始める前にバッテリーのマイナス側ケーブルを外してください。

1. 車両部品の取り外し



1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

手順	部 品 名
①	オーディオパネル
②	センタークラスターパネル
③	オーディオブラケット L・R
④	アッパーボックス
⑤	グローブボックス
⑥	フロントサイドステップカバー R
⑦	サイドキックカバー R
⑧	サイドカバー（下側のフック1カ所を外し、浮かせます）
⑨	インパネロアカバー
⑩	コラムロアカバー
⑪	サンバイザー L・R
⑫	バイザーホルダー L・R
⑬	アシストグリップ
⑭	Aピラーカバー L・R
⑮	Aピラーロアカバー L・R



注意

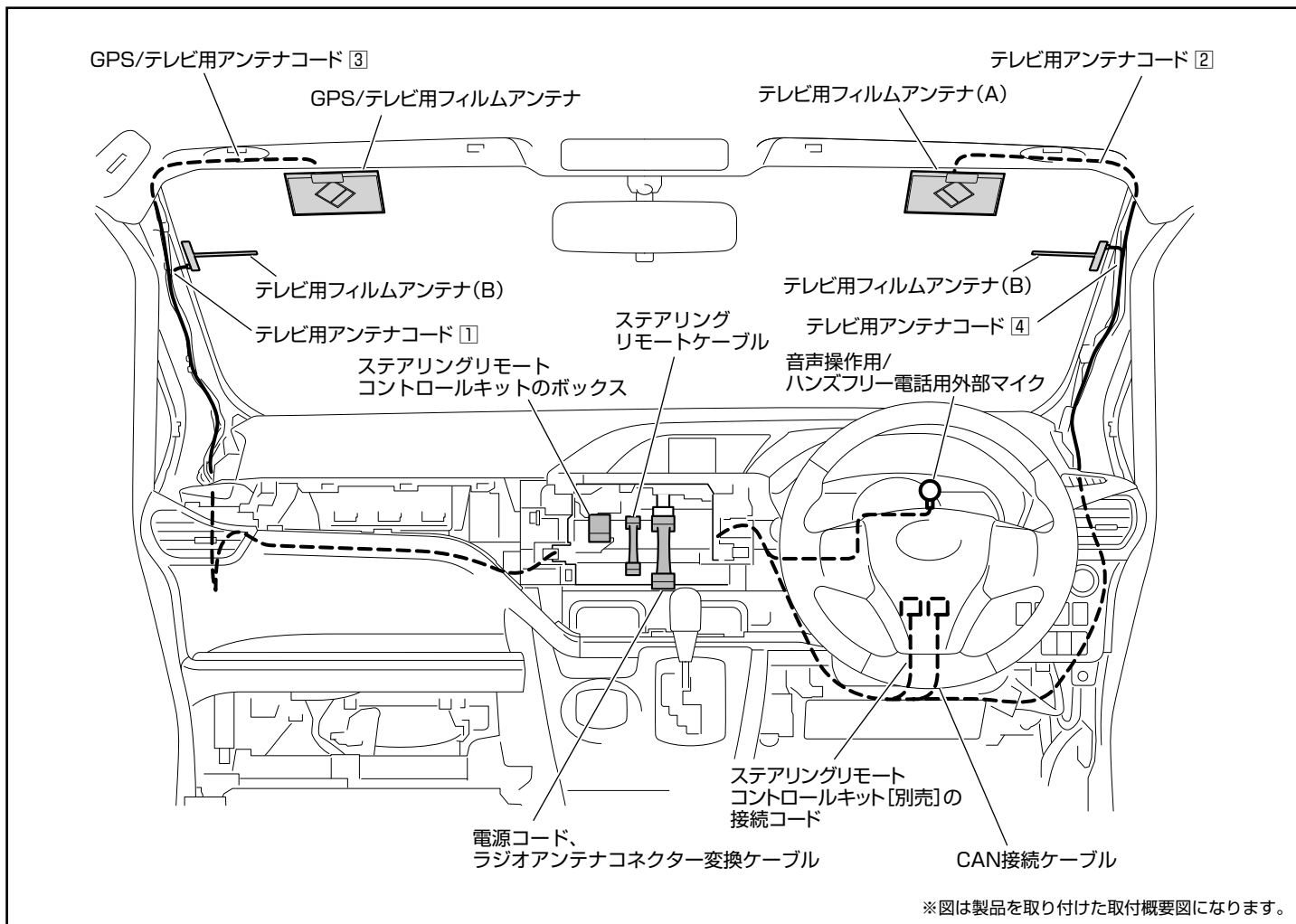
●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
●ねじの紛失にご注意ください。



Memo

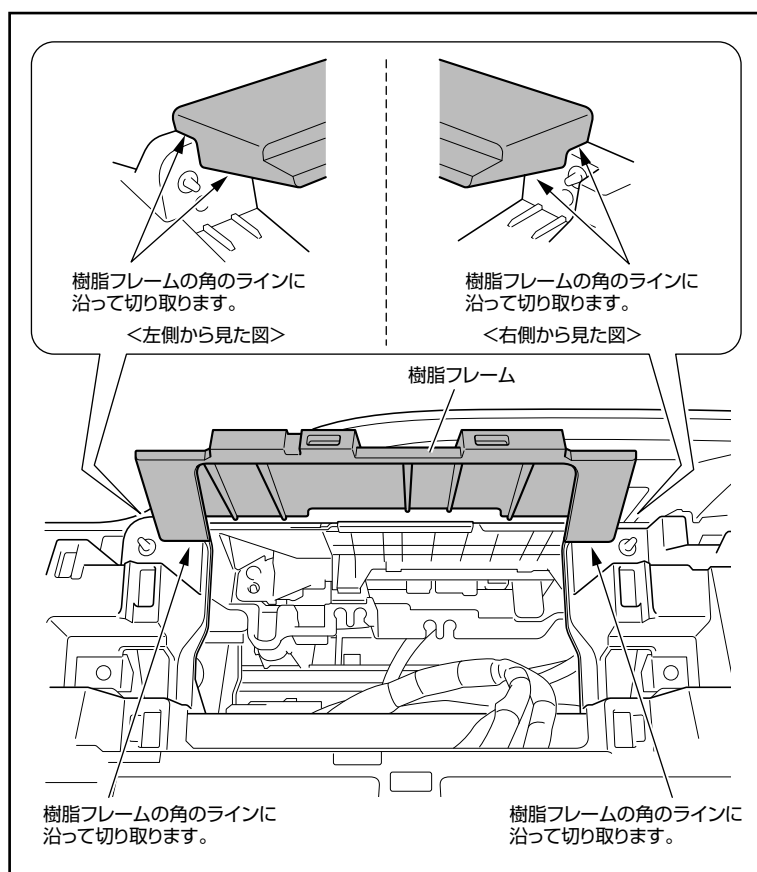
各ガーニッシュ取り外しには、クリップはすしを使用します。

2. 取付概要図



※図は製品を取り付けた取付概要図になります。

3. インパネの加工



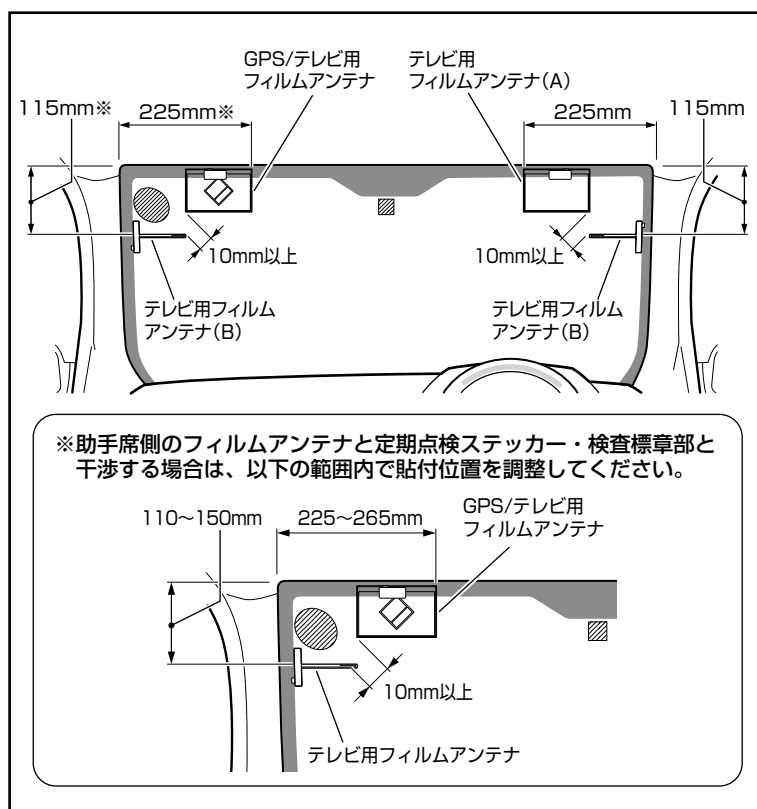
■インパネの加工

- オーディオ取付スペース部にある樹脂フレームの部をニッパーなどで切り取ります。

⚠ 注意

- 保護メガネ（ゴーグルなど）・保護手袋（軍手など）を着用し、刃物の取扱いに注意してください。
- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
- 配線を切断しないように注意してください。

4. フィルムアンテナの取り付け



■フィルムアンテナの取り付け

- フィルムアンテナをフロントウィンドウの室内側に貼り付けます。貼付方法の詳細は、12ページ「フィルムアンテナの貼り付け方法」を参照してください。

⚠ 注意

- クリーナーを使用して貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に除去してから貼り付けてください。
- 図の斜線部分の定期点検ステッカー・検査標章部にはフィルムを貼り付けしないでください。
- フィルムアンテナは、必ず指定の場所に貼り付けてください。

- 接続図を参照して各アンテナコードを取り付けます。

⚠ 注意

地デジ受信性能をより向上させるために、必ず決められた位置に取り付けてください。

⚠ 注意

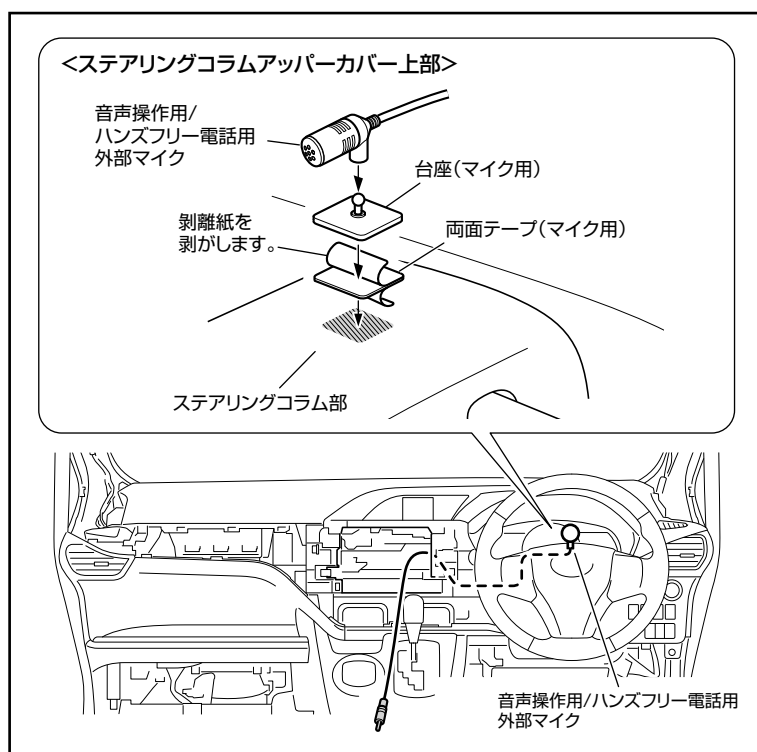
カーテンエアバッグに干渉しないように配線してください。



Memo

- 配線作業時は給電端子に負担を掛けないでください。給電端子をささえながらコードの配線を行ってください。
- 同じ位置に配線するユニットをすべて取り付けてから、配線を固定してください。
- アンテナの配線余長を束ねる場合は、ナビゲーション裏を避けて束ねてください。

5. 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクの取り付け



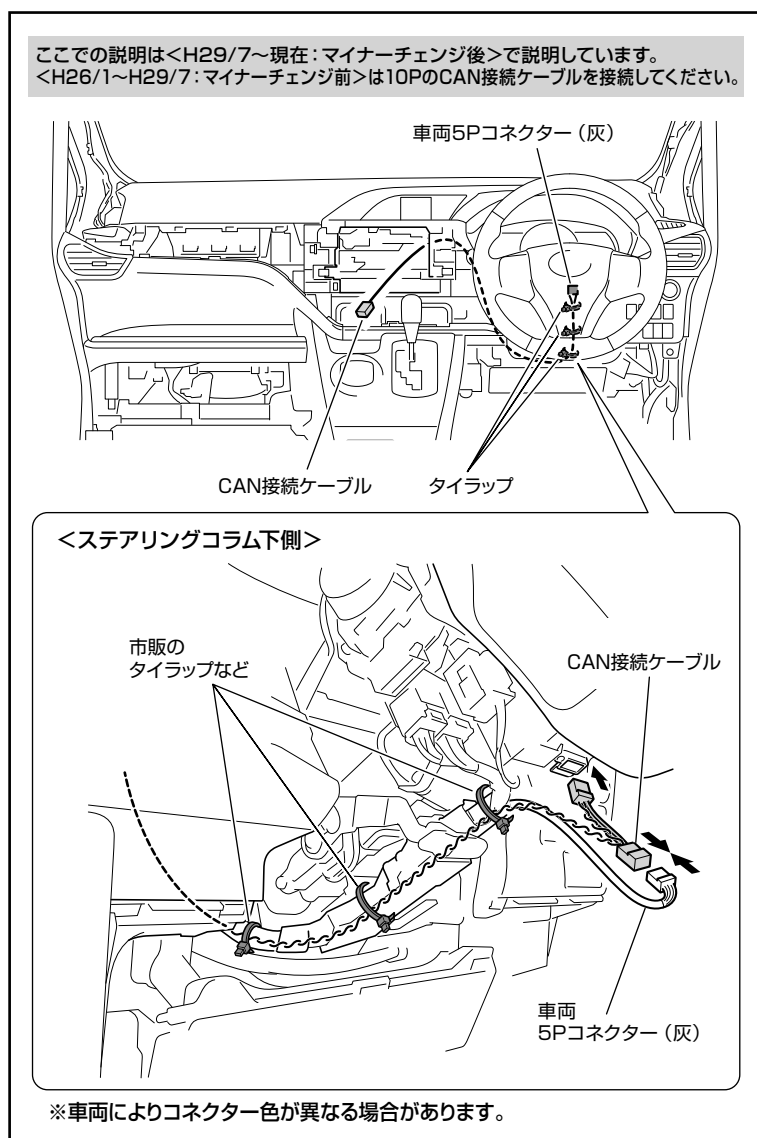
■音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクの取り付け

1. ステアリングコラムの上側に音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクを取り付けます。

⚠ 注意

- ステアリングの調整機構(チルト・テレスコピック)に影響の無い位置に取り付けてください。
- 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクのコードは、ハンドル操作やブレーキ操作、視界など運転操作の妨げにならないように配線してください。
- 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクは、ドライバーの声が拾いやすい場所に取り付けてください。発話するとき、姿勢が変わる様なことがあると、走行中の安全に支障をきたします。ドライバーの声が拾いやすい様に、マイクの向きや距離を考慮してから取り付けてください。
- 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクを取り付けないと、ハンズフリー及び音声認識機能が使えません。

6. 各ケーブルの接続



■CAN接続ケーブルの接続

(ステアリング連動バックビューガイド線を使用する場合)

1. ステアリングコラム下の車両5Pコネクタ(灰)を外します。
2. 車両5Pコネクタ(灰)にCAN接続ケーブルを割り込み接続し、ステアリングコラム下の車両配線に沿わせて配線します。

⚠ 注意

- 本説明書指定の取付け方法・取付け位置に正しく取付けなかった場合、車両の走行・動作に支障をきたすおそれがございます。間違えないように確実に取付けを行ってください。
- ケーブルの余長は束ねて車両ハーネスに固定してください。

3. CAN接続ケーブルをオーディオ取付部まで配線します。

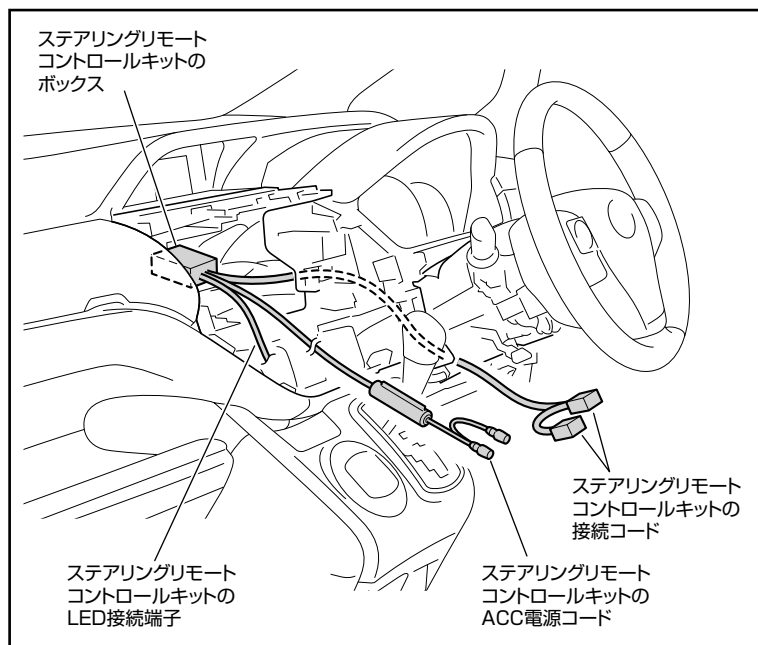
■電源コードの接続

1. 取付概要図を参照し、電源コードのパワーアンテナコード(青)のギボシ接続されている部分を外してラジオアンテナコネクタ変換ケーブル(P.ANT 青)を接続します。
2. 車両アンテナにラジオアンテナコネクタ変換ケーブルを接続します。
3. 接続図を参照し、オーディオ取付スペースの10P、6P、5Pの各コネクタに、電源コードを接続します。

■ステアリングリモートケーブルの接続

1. 接続図を参照し、オーディオ取付スペースの20Pコネクタにステアリングリモートケーブルを接続します。

7. ステアリングリモートコントロールキット【別売】の取り付け

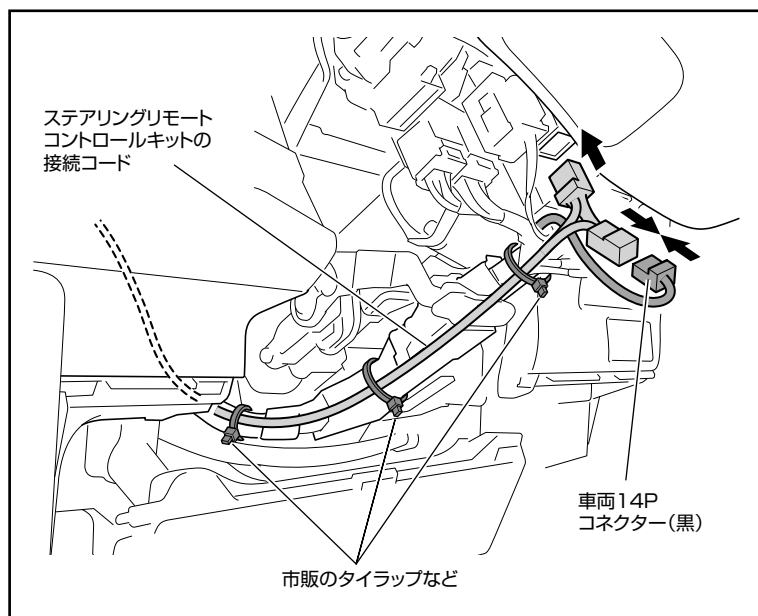


■ステアリングリモートコントロールキットの取り付け

1. ステアリングリモートコントロールキットのボックスをオーディオ取付部奥の車両配線などに取り付けます。

⚠ 注意 市販のタイラップなどで固定してください。

2. 接続図を参照し、電源コードのACC電源コードにステアリングリモートコントロールキットのACC電源コードを接続します。
3. ステアリングリモートコントロールキットの接続コードをステアリングコラム下まで車両配線に沿わせて配線します。



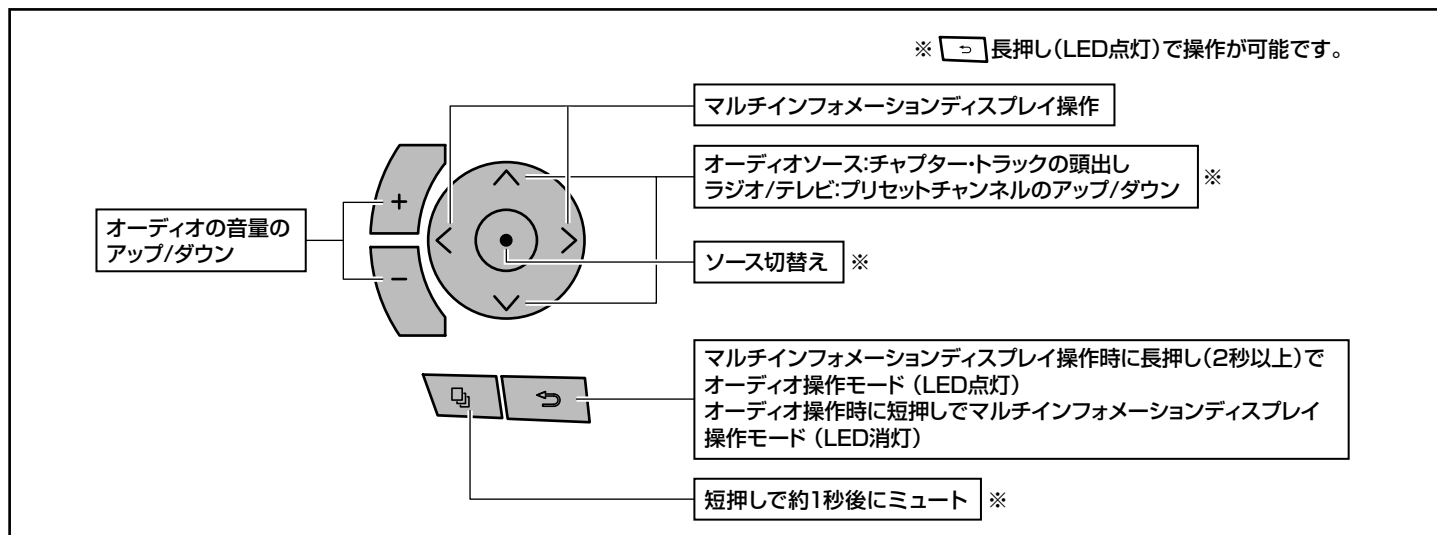
4. 車両14Pコネクタ（黒）を外します。
5. 車両14Pコネクタ（黒）にステアリングリモートコントロールキットの接続コードを割り込み接続します。

⚠ 注意

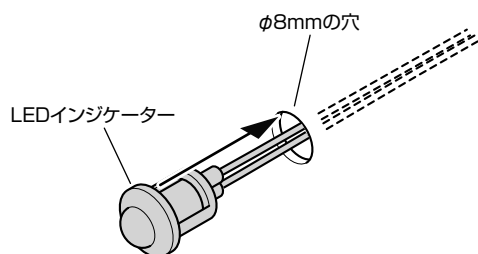
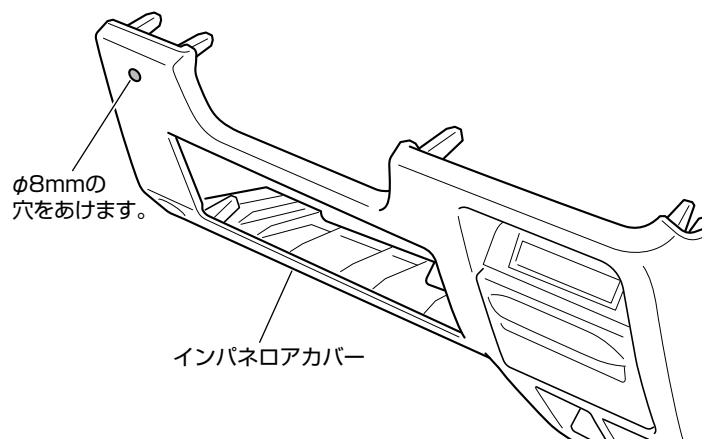
- コードは市販のタイラップなどで固定してください。
- コードの余長は束ねて車両ハーネスに固定してください。

■ステアリングリモコンの動作について

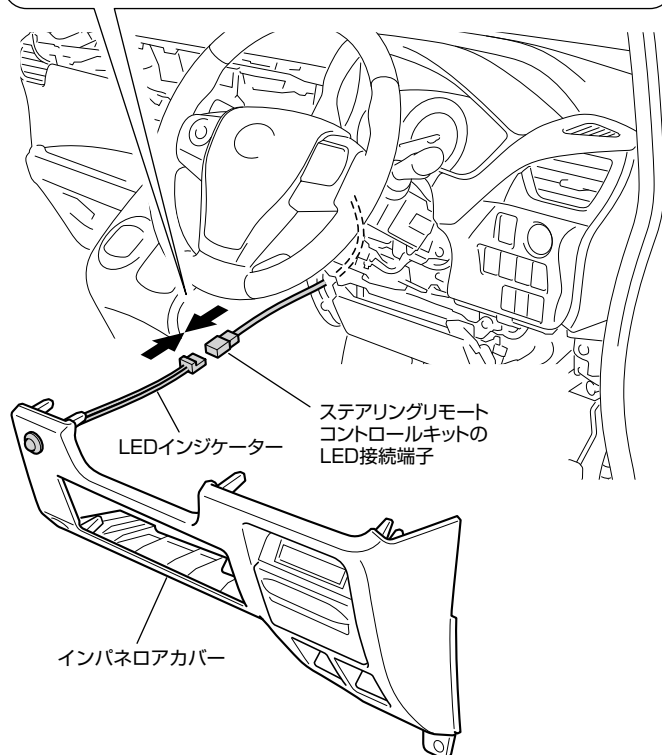
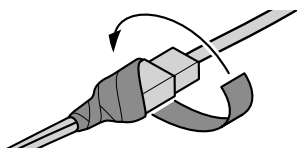
1. ステアリングリモートコントロールキット(KTX-Y401R)【別売】を使用いただくと、車両側のステアリングリモコンを使用して、以下の操作が可能になります。(KTX-Y401Rを使用しない場合はオーディオ音量のアップ/ダウンのみ対応します)



【LED取り付け位置例：インパネロアカバー左側】



コネクタの接続部に市販のビニールテープなどを巻いてください。



■LEDインジケータの取り付け（例）

1. 運転の妨げにならない箇所にφ8mmの穴をあけます。

⚠ 注意

- 本説明書記載のLED取り付け位置は一例となります。
- 取り付け穴は配線の届く場所にあげてください。
- 保護メガネ（ゴーグルなど）・保護手袋（軍手など）を着用し、刃物の取扱いに注意してください。
- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。

2. 加工した穴にLEDインジケータを取り付けます。

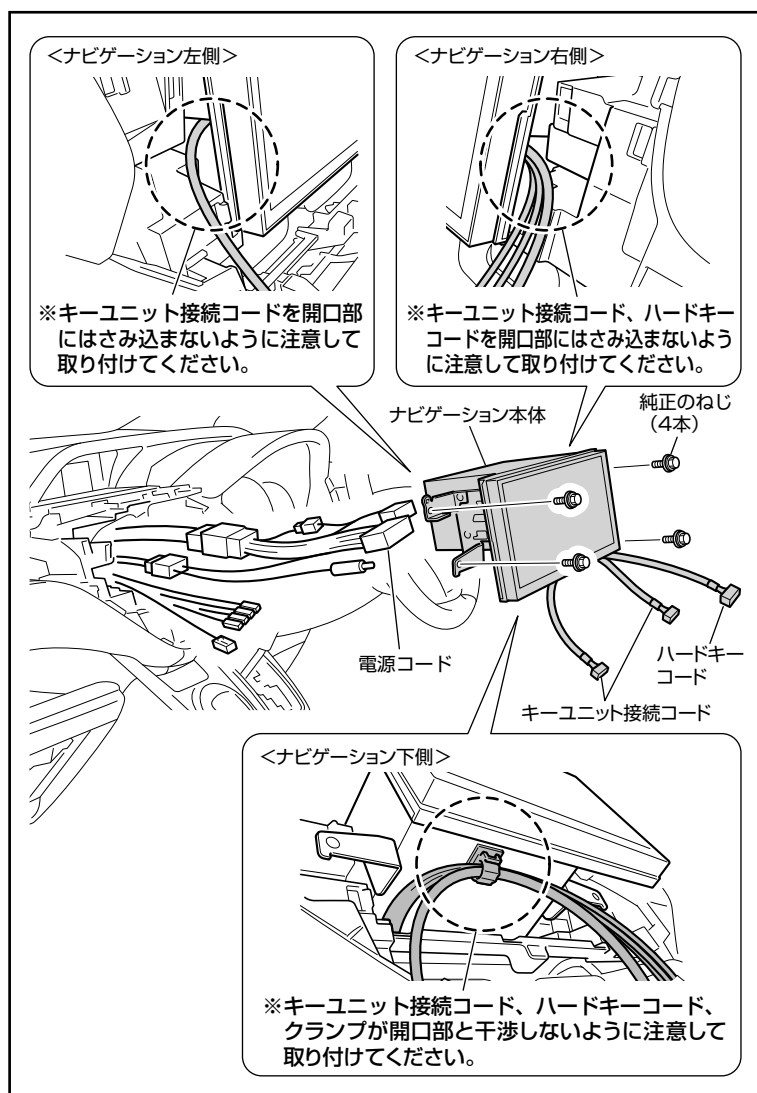
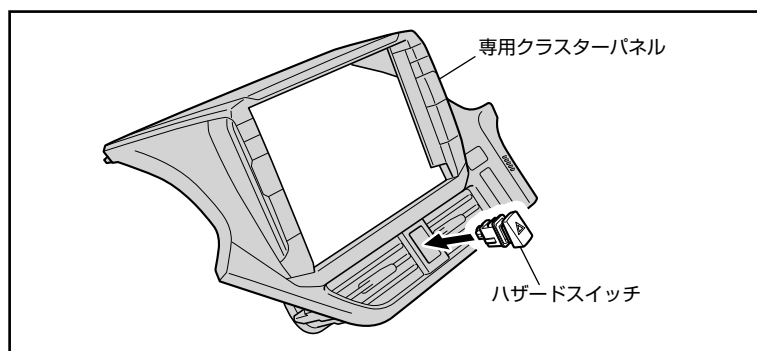
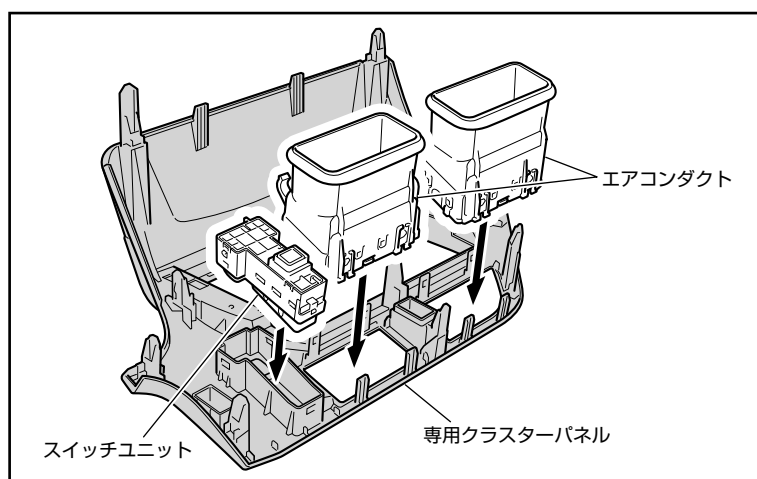
3. ステアリングリモートコントロールキットのLED接続端子をLEDインジケータ取り付け位置まで配線します。

⚠ 注意

市販のタイラップなどで固定してください。

4. ステアリングリモートコントロールキットのLED接続端子にLEDインジケータを接続します。

8. ナビゲーション本体の取り付け



■ナビゲーション本体の取り付け

1. 純正のクラスターパネルから、エアコンダクトとスイッチユニット、ハザードスイッチを取り外します。
2. 専用クラスターパネルにエアコンダクトとスイッチユニットを取り付けます。



注意 フックがしっかりとかかっていることを確認してください。

3. 取り外したハザードスイッチを専用クラスターパネルに取り付けます。

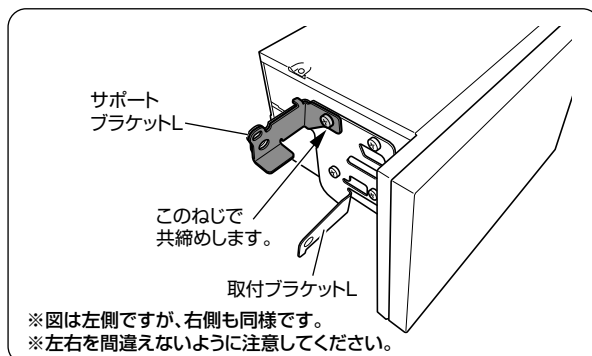


●キズ防止のため、専用クラスターパネルをマスキングテープなどで保護してください。

●フックがしっかりとかかっていることを確認してください

●ハザードスイッチが動作することを確認してください。

4. サポートブラケットをナビゲーション本体の取付ブラケット上部に固定します。



5. 接続図を参照して配線を接続します。



「バックグラウンドサーチ」機能が正常に働くように、ナビゲーションのアンテナ端子は必ず下記の組み合わせ通りに接続してください。

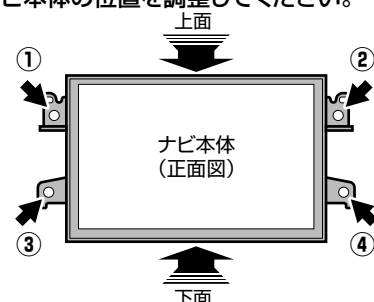
アンテナコード	①	②	③	④
ナビ背面のアンテナ端子位置	1	2	3	4

6. ナビゲーション本体をオーディオ取付スペースに取り付けます。



●ナビゲーション本体の上面と下面を持って取り付けてください。

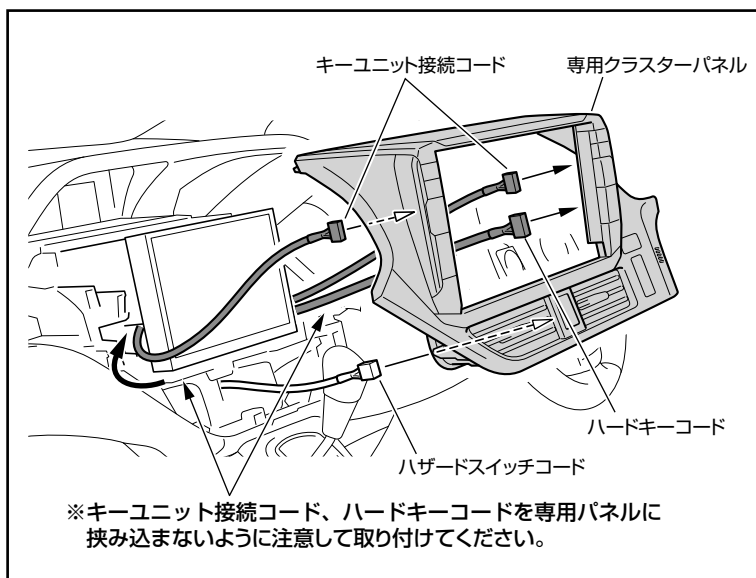
●ナビ本体が専用クラスターパネルに干渉してしまう場合は、下図のねじを緩めてナビ本体の位置を調整してください。



※パネルだけを持たないようにしてください。
※ねじを締める際は、必ず番号順に締めてください。

●ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

●モニターの前面を強く押さないでください。

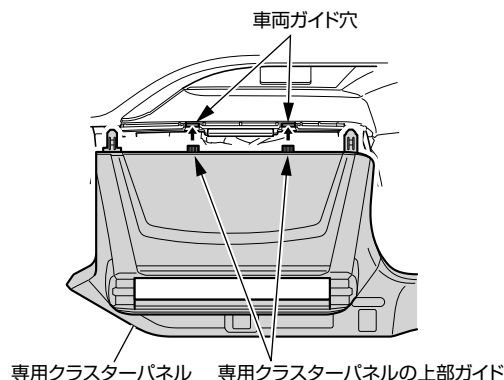


7. キーユニット、ハードキー、ハザードスイッチのコードを専用クラスターパネルに接続します。

8. 専用クラスターパネルを取り付けます。

<オーディオ取付部を上から見た図>

※専用クラスターパネルを取り付ける際に、上部ガイドが車両ガイド穴にしっかりと入っている事を確認してください。



⚠ 注意 ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

- 取り付けが終わったら、17 ページ以降を参照してクイックセットアップ、接続確認を行ってください。
- ステアリングスイッチ操作方法については別紙の「純正ステアリングスイッチの操作について」を参照してください。

※本製品は車種専用以下設定をチューニング済みとなっております。

組み合わせるオプション製品（カメラなど）によって設定を変更する場合は 19 ページの手順にて設定を行ってください。

【チューニング済みの項目】

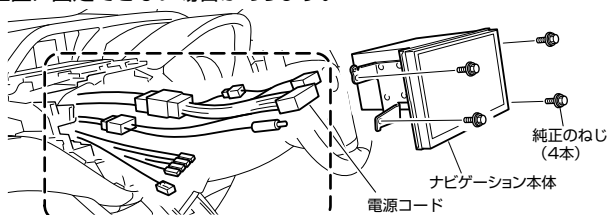
- ・車種専用オープニング画面
- ・車種専用サウンド（音響空間の設定）
- ・カメラガイド線
- ・車両情報（車種・サイズ）等

⚠ 注意 ナビ本体取り付け時に以下の点に注意してください。

■配線の挟み込み/配線の処理について

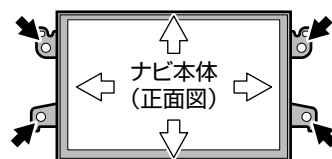
- ナビ本体の上側/背面/下側（斜線エリア）に配線を挟み込まないように注意してください。

- ナビ本体を固定する際、無理に押し込まずに固定してください。
- ※ナビ本体裏側の配線は必要以上にまとめずに分散して取り付けてください。ビニールテープ等でまとめ過ぎるとナビ本体が正しい位置に固定できない場合があります。



■ナビ本体の固定について

- ナビ本体の固定位置を調整し、
- ☐ ナビノーズとパネルのクリアランスが適正である事
- ☐ ノーズ開閉時に上下が接触しない事を確認してください。



9. 車両部品の復元/動作確認

■車両部品の復元

1. 取り外した車両部品を元通りに復元します。

⚠ 注意

ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

■動作確認

1. 電源が入ることを確認します。

⚠ 注意

バッテリーのマイナス端子を接続する際にステアリングが0時の位置に合っていることを必ずご確認ください。

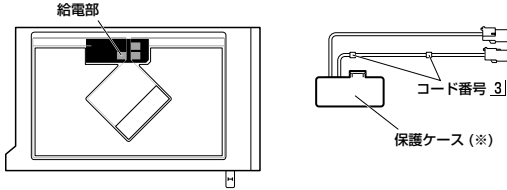
2. 「5. 接続状態を知る」を参照し、接続状況を確認します。

フィルムアンテナの取り付け方法

フィルムアンテナの貼り付け面とアンテナコード番号を確認する

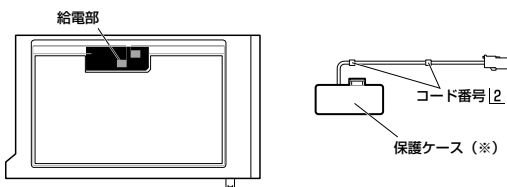
■GPS/テレビ用フィルムアンテナとコード

給電部が見える面が車内側です。



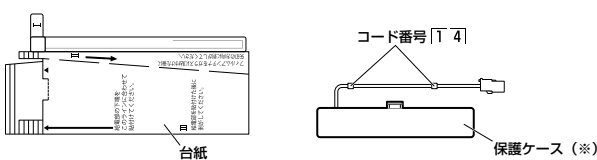
■テレビ用フィルムアンテナ(A)とコード

給電部が見える面が車内側です。

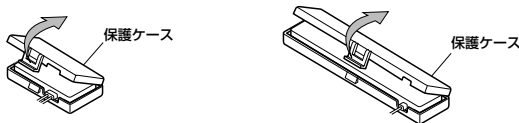


■テレビ用フィルムアンテナ(B)とコード

台紙に文字が印刷されている面が車内側です。



※ アンテナアンプは給電端子を保護するためケースに入っています。アンテナアンプの取り付け位置を確認する際や、実際にフィルムアンテナに取り付けを行う時以外はケースから取り出さずに作業を行ってください。



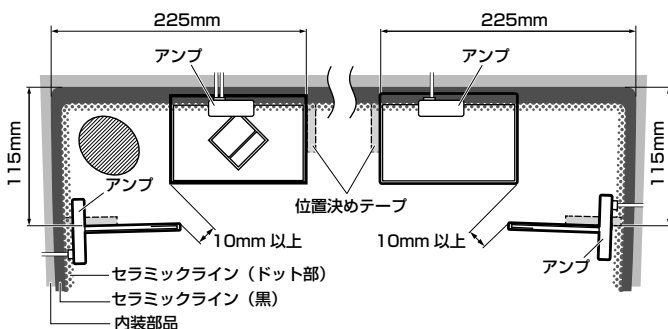
<フィルムアンテナの取り扱いについての注意>

- 透明フィルムや保護フィルムをはがすときはフィルムアンテナを強く曲げないでください。アンテナが断線する恐れがあります。
- 透明フィルムや保護フィルムは急にはがさないでください。アンテナが断線する恐れがあります。
- 透明フィルムや保護フィルムをはがした後は、アンテナに直接触れたり、物を当てたりしないでください。皮脂や埃がつくとアンテナが貼りつかなくなります。

注意 ● 必ず車両側の内装部品(内張りやAピラーカバーなど)とアンプが干渉しない位置を確認してからフィルムアンテナの取り付けを行ってください。

1 フィルムアンテナの取り付け位置を決める

下図を参考に、セロハンテープなどで車外から位置決めテープを貼り付けてください。



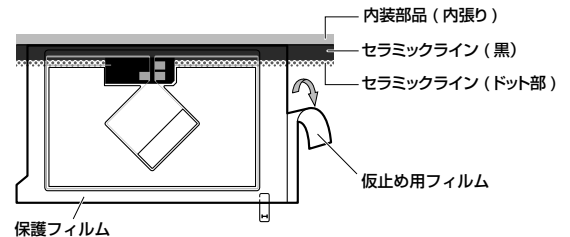
2 フィルムアンテナを取り付ける

- フロントウィンドウの汚れ(ごみ・油等)やくもり止めを付属のクリーナーを使ってきれいに拭きとってください。油膜や糸くずが残っていると気泡発生の原因になります。
- 水または界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- フロントウィンドウは、完全に乾いた状態にしてから作業を行ってください。
- 冬場での貼り付けの場合は、霜取りやウィンドウ面を暖めてから作業を行ってください。その際は、フィルムアンテナ自体も暖めてください。

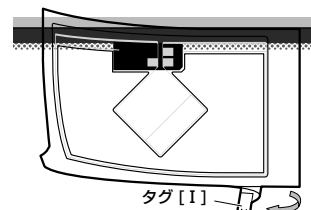
— GPS/テレビ用フィルムアンテナ・テレビ用フィルムアンテナ(A)を取り付ける —

- イラストはGPS/テレビ用フィルムアンテナですが、テレビ用フィルムアンテナ(A)も同様の手順で取り付けてください。

1) 仮止め用フィルムをはがし、保護フィルム上部を内装部品(内張り)の端に合わせ仮止めする。

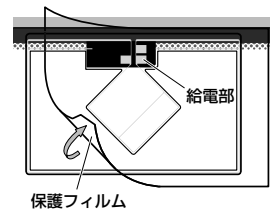


2) タグ[I]の透明フィルムをゆっくりはがして、フィルムアンテナをしっかりとガラスに密着させる。



- フィルムの上からアンテナ線を中心に指で強く押す(困難な場合は、樹脂ヘラを使用)。
- 給電部は、気泡が残らないように強めに押しつけてください。
- 気泡が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。
- 一度アンテナがフロントウィンドウに貼り付くと、貼り直しができないので注意してください。

3) フィルムアンテナがフロントウィンドウに定着していることを確認しながら、保護フィルムを左端からゆっくりとはがす。

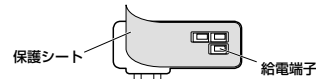


- ※ 保護フィルムと一緒にアンテナがはがれる場合は、保護フィルムを一度もとに戻しアンテナ線を中心に強く押しつけて定着させてから再度はがしてください。
- ※ アンテナを柔らかい布等で上から押さえつける。
- アンテナの上から丁寧に押さえつけてください。
- 給電部には、直接手で触れないでください。皮脂等の汚れが付着すると給電部が錆びて本来の性能が発揮できなくなります。

4) コードを配線する。

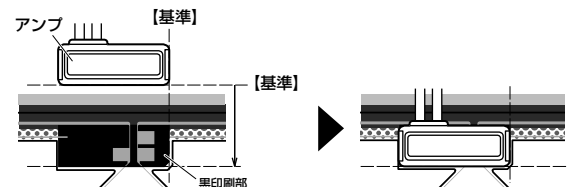
- 実際に配線する前に、アンテナコードの番号と「フィルムアンテナの取り付け」で指定されたフィルムアンテナの位置を確認し、セロハンテープ等で仮止めします。アンテナコードのアンプ給電端子の先端部が、フィルムアンテナに届くように調整してください。

5) アンプ裏面の保護シートをはがす。



6) アンプをフィルムアンテナに取り付ける。

アンプの右端と下側を基準にフィルムアンテナ黒印刷部にアンプを取り付ける。

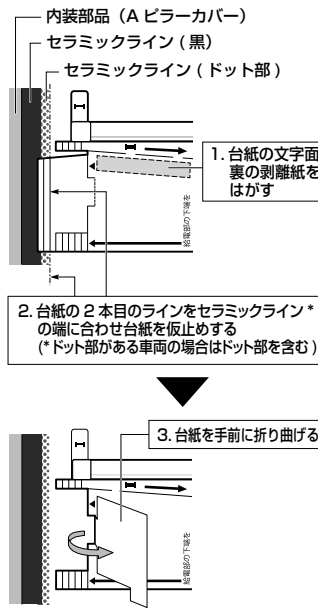


- 給電端子は正しい位置に取り付けてください。端子のズレや浮き等の原因になり、本機の性能が発揮できません。

テレビ用フィルムアンテナ(B)を取り付ける

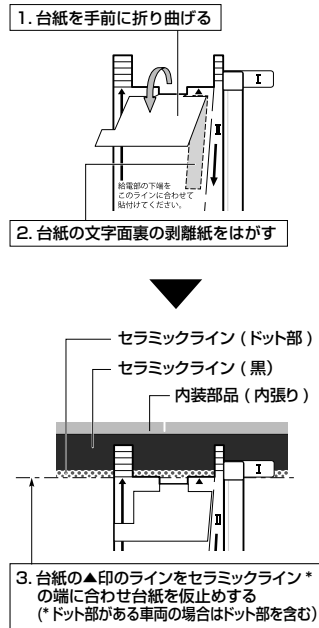
- 1) 下図を参照しフィルムアンテナがセラミックラインに垂直になるよう貼り付ける。

■横貼り(左側)

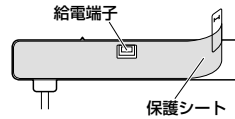


※ イラストは左側ですが右側も同様に作業してください。

■縦貼り

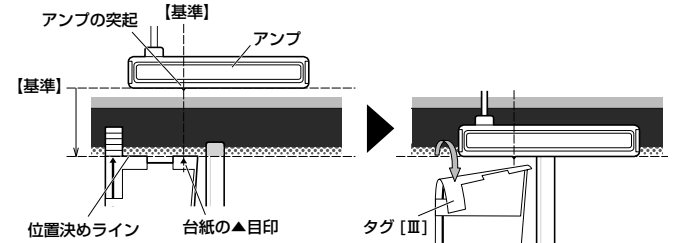


- 5) アンプ裏面の保護シートをはがす。



- 6) アンプをフィルムアンテナに取り付ける。

アンプの突起と台紙の▲目印、およびアンプの下端と台紙の位置決めラインを基準にアンプを取り付ける。
※ イラストは縦貼りですが、横貼り(左右)も同様に作業してください。



- 給電端子は正しい位置に取り付けてください。端子のスレや浮き等の原因になり、本機の性能が発揮できません。

- 2) タグ[I]の透明フィルムをゆっくりはがして、フィルムアンテナをしっかりとガラスに密着させる。

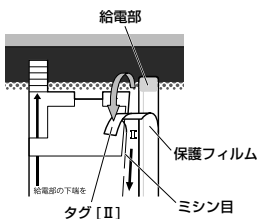
※ イラストは縦貼りですが、横貼り(左右)も同様に作業してください。



- フィルムの上からアンテナ線を中心に指で強く押す(困難な場合は、樹脂ヘラを使用)。
- 給電部は、気泡が残らないように強めに押しつけてください。
- 気泡が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。
- 一度アンテナがフロントウィンドウに貼り付くと、貼り直しができないので注意してください。

- 3) フィルムアンテナがフロントウィンドウに定着していることを確認しながら、タグ[II]と保護フィルムを台紙のミシン目に沿いながらゆっくりとはがす。

※ イラストは縦貼りですが、横貼り(左右)も同様に作業してください。



- ※ 保護フィルムと一緒にアンテナがはがれる場合は、保護フィルムを一度もとに戻しアンテナ線を中心に強く押して定着させてから再度はがしてください。
- ※ アンテナを柔らかい布等で上から押さえつける。
- アンテナの上から丁寧に押さえつけてください。
- 給電部には、直接手で触れないでください。皮脂等の汚れが付着すると給電部が錆びて本来の性能が発揮できなくなります。

- 4) コードを配線する。

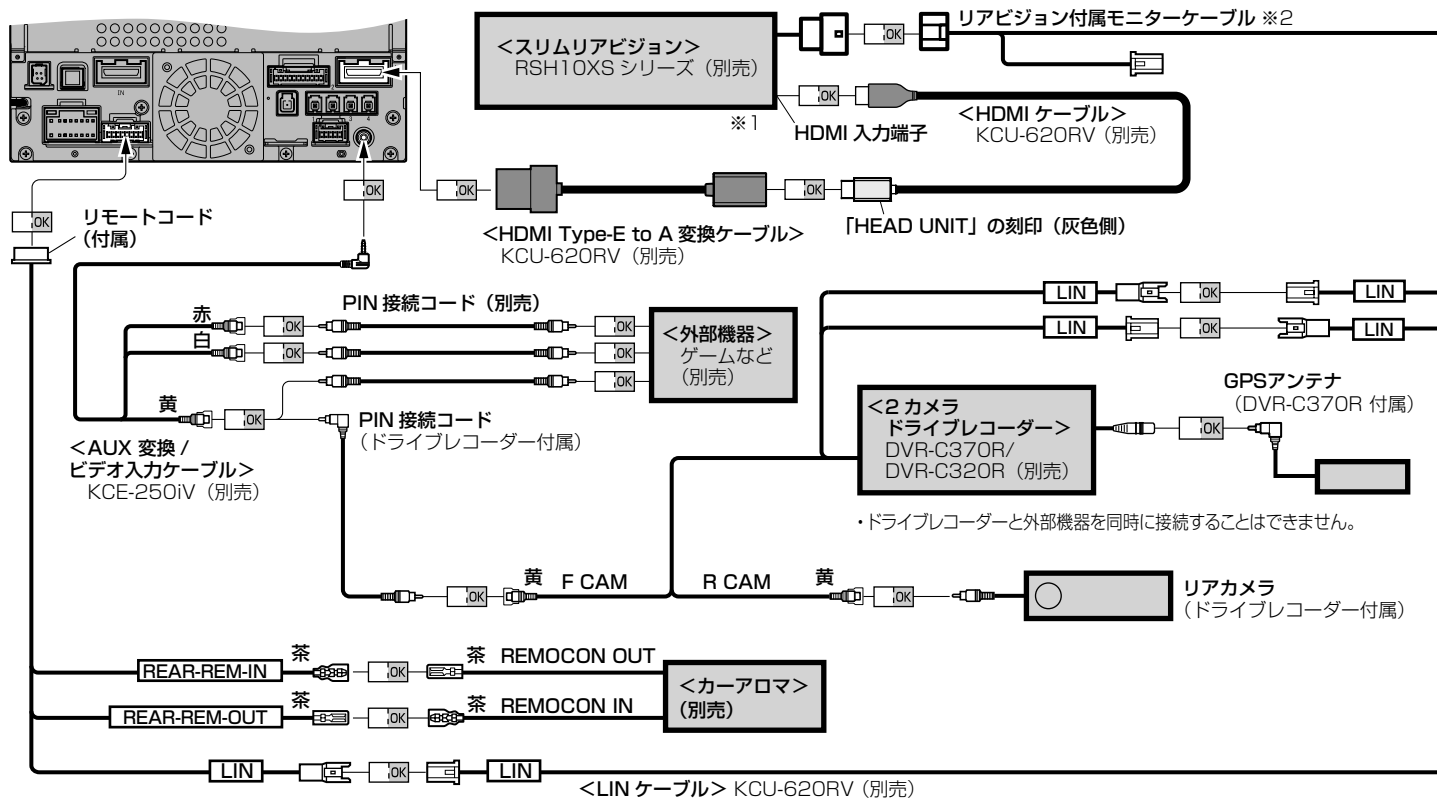
- 実際に配線する前に、アンテナコードの番号と「フィルムアンテナの取り付け」で指定されたフィルムアンテナの位置を確認し、セロハンテープ等で仮止めます。アンテナコードのアンプ給電端子の先端部が、フィルムアンテナに届くように調整してください。

システムアップの例

接続する製品の取扱説明書および取付説明書もあわせてご覧ください。

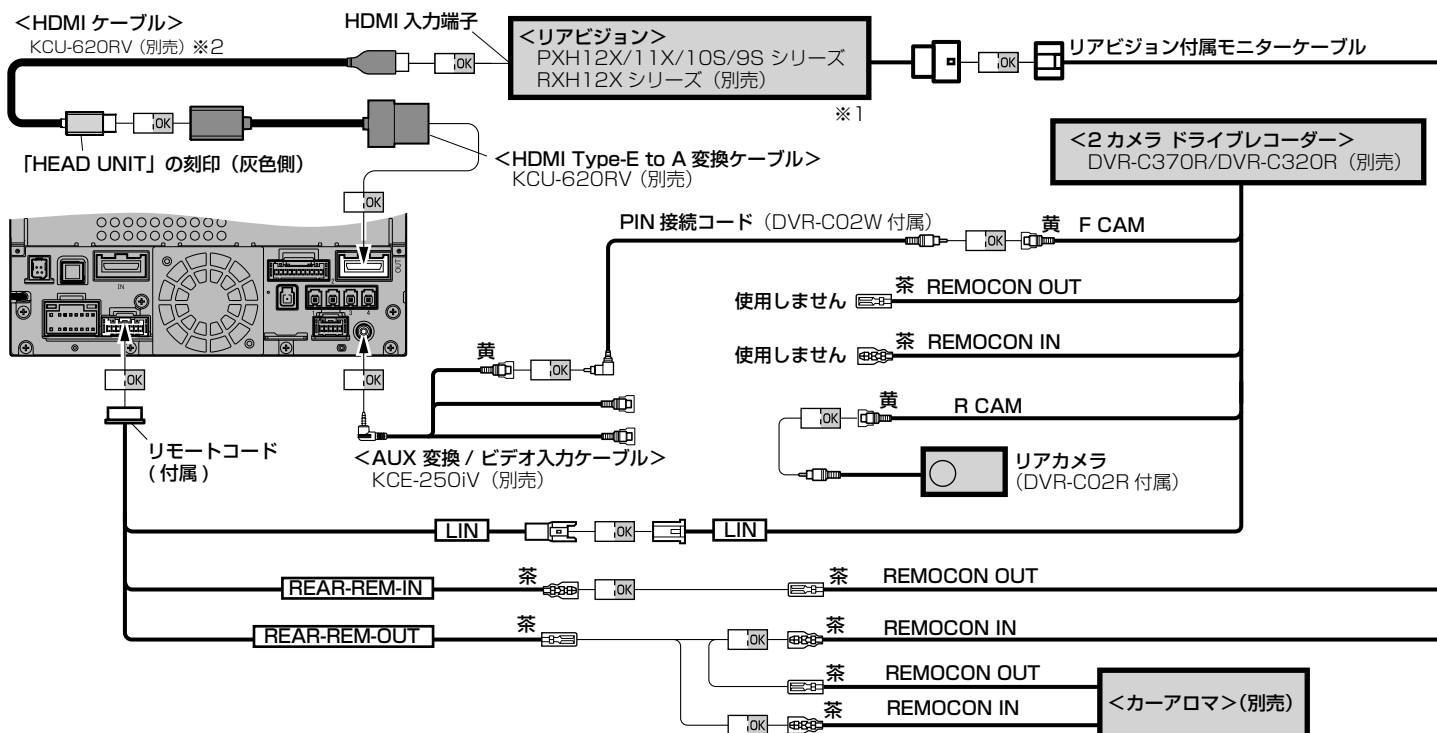
リアビジョンとカーアロマ/ドライブレコーダー/外部機器 を接続する

HDMI 対応リアビジョンを接続する場合



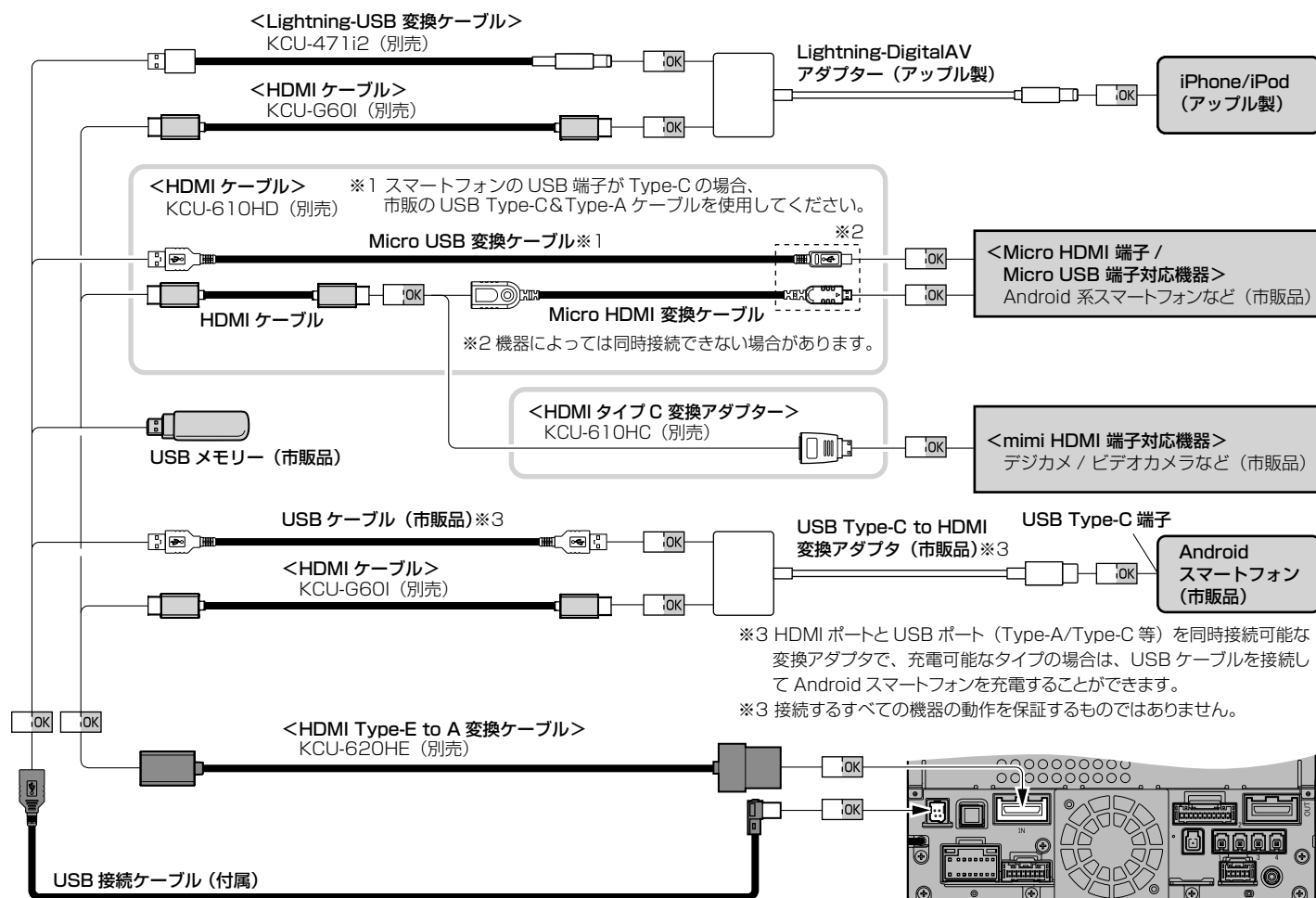
スリムリアビジョン以外のHDMI対応リアビジョンを取り付ける場合

・リアビジョンとドライブレコーダー、カーアロマを同時に接続する場合は、REMOCONコードの接続順序を必ず本接続例に沿って接続をしてください。

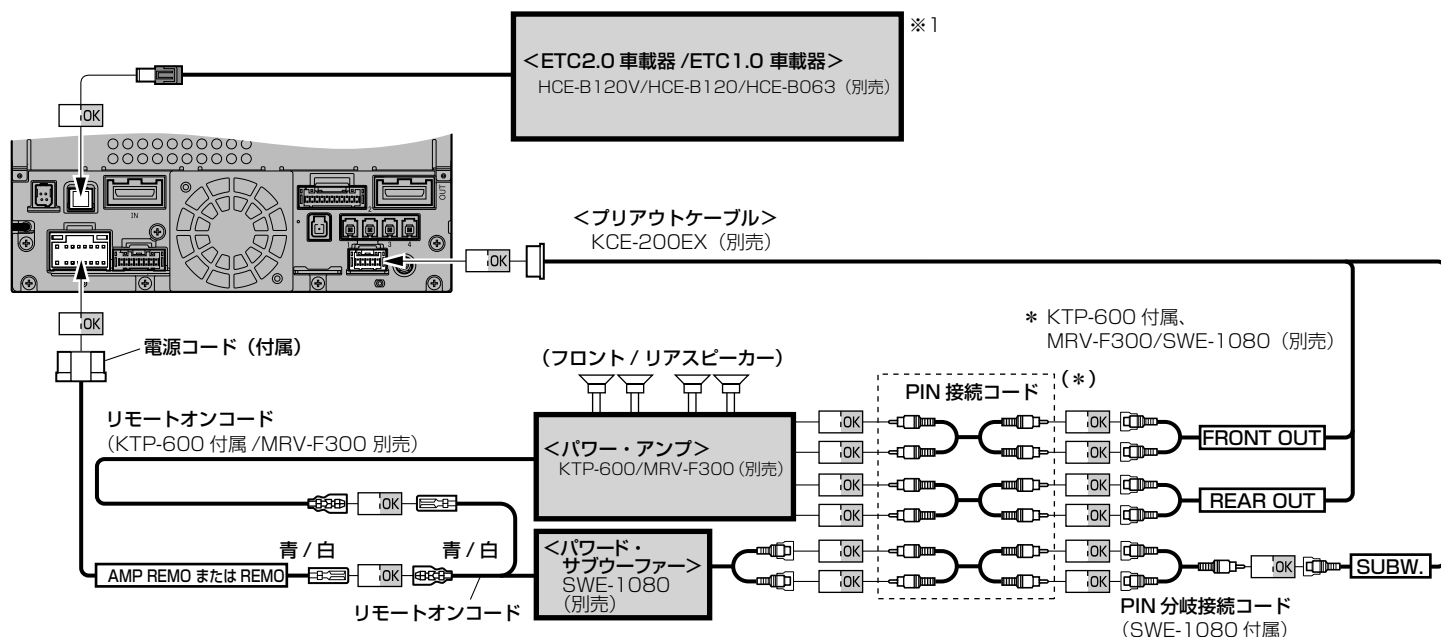


iPhone やスマートフォン、USBメモリーなどを接続する

- ・複数の機器を同時に接続することはできません。
 - ・接続する機器を車の中に放置したままにしないでください。車室内の熱による故障の原因になります。
 - ・本機へHDMI 接続する場合は、それぞれHDMI端子タイプに対応した別売の接続ケーブルが必要です。別売の接続ケーブルによってはHDMI ケーブルとUSB接続ケーブルが付属されている場合があります。
- HDMIケーブルは、共通で使用できますが USB ケーブルは使用できません。本機付属のUSBケーブルを使用してください。



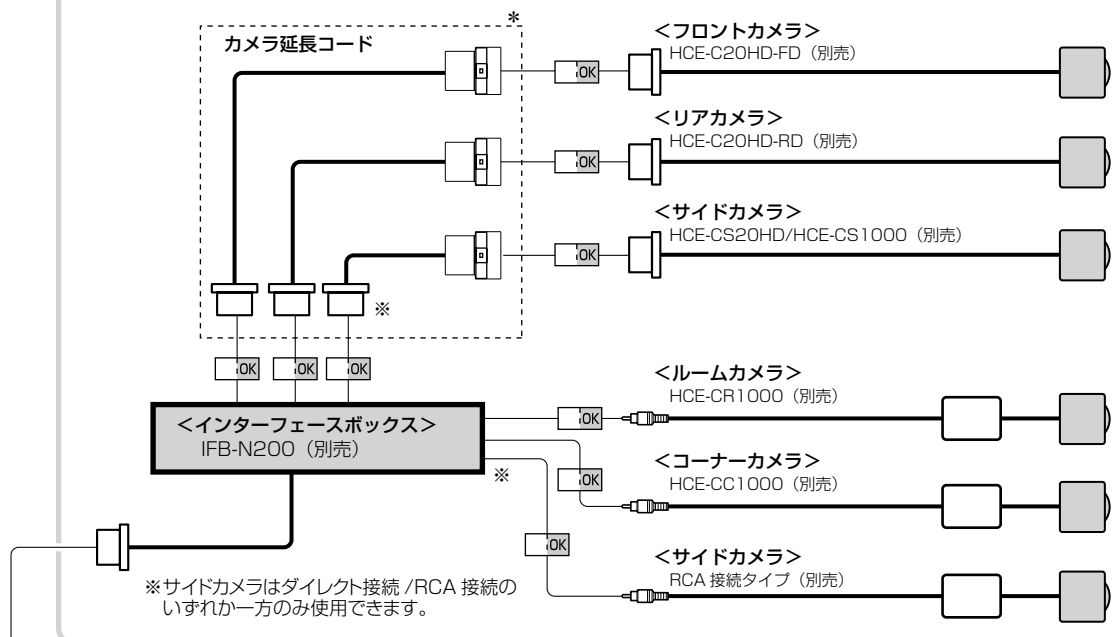
ETC2.0/ETC1.0車載器、パワーアンプ/パワード・サブウーファーを接続する



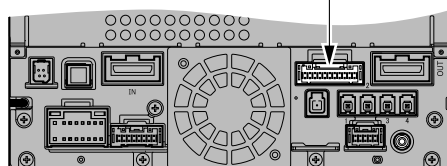
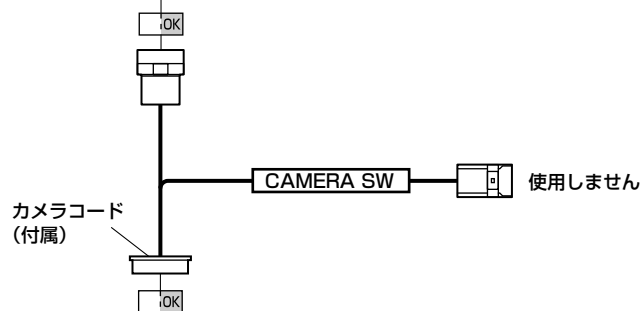
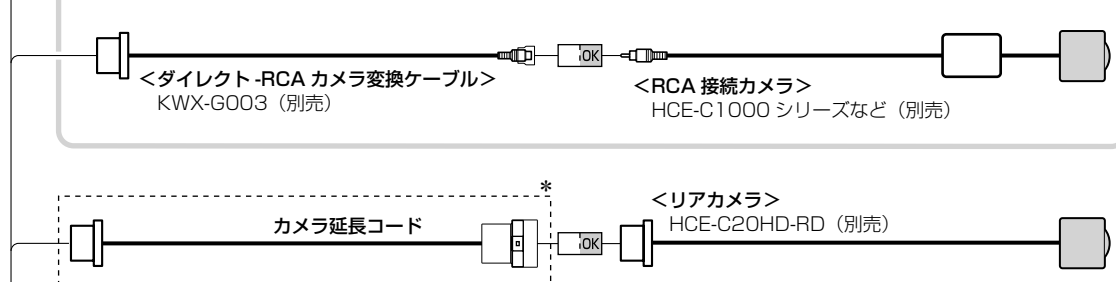
カメラを接続する

接続するカメラによって、別売のカメラダイレクトケーブルや車種専用カメラ取付キットが必要な場合があります。
詳しくはアルパインホームページの製品適合情報 (https://www.alpine.co.jp/fitting_guide/) および、各製品の取付説明書を参照してください。

◇ 複数のカメラを取り付ける場合



◇ RCA 接続タイプのカメラを取り付ける場合



4. クイックセットアップ(販売店設定)を行う

取り付け完了後、初回起動時に「ようこそ」画面が表示されます。



ようこそ画面の **はじめる** にタッチすると、お客様のお車専用の音質設定や販売店登録、メンテナンスなどの設定を行います。

本設定終了後は、お客様向けクイックセットアップを行います。

お客様向けクイックセットアップについては、本機付属の取扱説明書「1. はじめに」-「クイックセットアップをする」を参照してください。

ここでは、販売店向けクイックセットアップの流れについて説明します。

クイックセットアップを行う前の事前確認

リアビジョンが接続されている場合で、リアビジョン側の設定に[コーディネートカラーコントロール/プラズマクラスターコントロール] 設定がある場合は、本設定を行う前に必ずリアビジョン側を[ナビ]に設定してください。

1 ようこそ画面の **はじめる** にタッチする。

車種選択画面が表示されます。

2 画面の指示に従って車種/各外部機器の接続有無を選択し、**決定** にタッチする。

<設定項目>

- 車種選択(メーカー / 車種 / グレード)
- カメラ接続※1
- スピーカー選択(サブウーファー)
- ステアリングリモコン選択
- リアビジョン選択

※1 カメラによっては接続を検出して自動で設定されます。また、選択した車種に設定がないカメラの種類は設定できません。

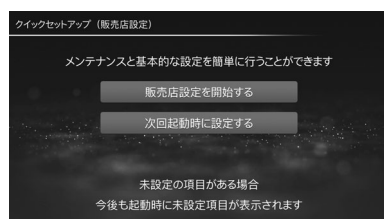
- 選択した車種により設定項目が異なる場合があります。

各設定が終了すると確認画面が表示されます。

決定 → **はい** にタッチすると再起動します。

3 再起動後、クイックセットアップ(販売店設定)画面が表示されます。

販売店設定をする にタッチしてください。

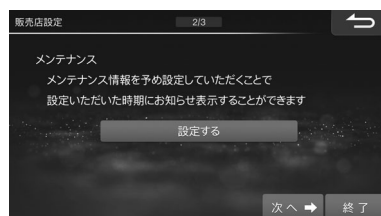


4 販売店設定画面の **設定する** にタッチし、**地図から** **電話番号から** **住所から** のいずれかの方法で販売店登録を行ってください。



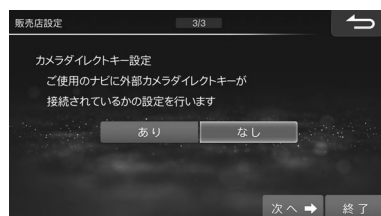
- 設定完了後、**次へ →** にタッチするとメンテナンス設定画面が表示されます。

5 メンテナンス画面の **設定する** にタッチし、オイル交換時期やタイヤ交換時期・車検時期等各項目を設定します。



- 設定完了後、**次へ →** にタッチするとカメラダイレクトキー設定画面が表示されます。

6 カメラダイレクトキー設定画面の **あり** または **なし** にタッチします。



※ 手順4から6までの各設定項目を未設定のまま **次へ →** にタッチした場合は、クイックセットアップ画面が表示されます。また、**終了** にタッチした場合は、販売店向けクイックセットアップが終了します。設定されなかった項目は、電源を入れるたびに販売店向けクイックセットアップ画面が表示されますので必ず設定を行ってください。

7 カメラダイレクトキー設定が完了したら画面の **終了** にタッチし、確認メッセージの **はい** にタッチしてください。

販売店向け専用チューニングが完了します。

販売店向けクイックセットアップ完了後は、お客様へ設定した内容をお伝えください。

5. 接続状態を知る

取り付けが終わったら、配線が正しく接続されたか確認をしてください。

本体の電源を入れて、GPSアンテナ、電源コード、周辺機器の接続状況を画面表示で確認することができます。また、本機の動きがおかしいときにも見てください。接続しているのに、「未接続」と表示されたらコード類を確認しましょう。

1 [△]スイッチを押します。

ナビメニュー画面が表示されます。

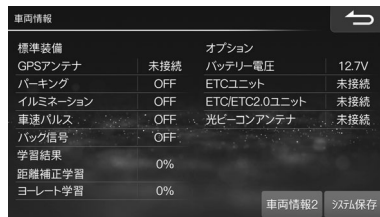
2 情報/更新 にタッチします。



3 車両情報 タブにタッチし、車両情報 にタッチします。



車両情報画面が表示されます。



- 車速パルスは、停車時等車速が入っていない時はOFFと表示されます。

6. テレビの初期設定を行う

本機で初めてテレビを見るには、受信可能なチャンネルを登録する初期設定が必要です。

<チャンネルを登録する>

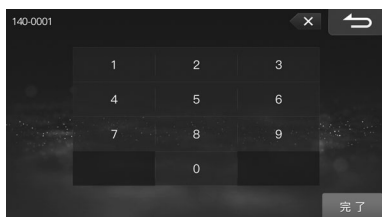
1 [♪]スイッチを押します。

オーディオメニュー画面が表示されます。

2 ソース ▶ TV の順にタッチします。



3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、完了 にタッチします。



4 お住まいの地域のタブにタッチして切りかえ、地域名にタッチし、完了 にタッチします。



5 お住まいの地域タブにタッチして切りかえ、県域にタッチし、ホームスキャン にタッチします。



ホームモードスキャンが実行されます。

スキャンしたチャンネルはホームモード(お住まいの地域のモード)のプリセット番号に自動的に記憶されます。

- ホームモードスキャンはしばらく時間がかかります。スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。

7. 車種専用チューニングを行う

本製品には下記の車種専用チューニングデータを格納しております。

【格納車種】

<ヴォクシー / ノア / エスクァイア [80系] >

・ヴォクシー / ノア / エスクァイア [R2/5-R4/1] (初期設定)	・NO X [R2/5-R4/1]	・EQ [R2/5-R4/1]
・VO ZS [R2/5-R4/1]	・NO G [R2/5-R4/1]	・EQ HV [R2/5-R4/1]
・VO HV ZS [R2/5-R4/1]	・NO HV X [R2/5-R4/1]	・EQ Black-Tailored [R2/5-R4/1]
・VO ZS 煌 [R2/5-R4/1]	・NO HV G [R2/5-R4/1]	・EQ HV Black-Tailored [R2/5-R4/1]
・VO HV ZS 煌 [R2/5-R4/1]	・NO Si [R2/5-R4/1]	・EQ [H29/6-R2/4]
・VO ZS GR SPORT [R2/5-R4/1]	・NO HV Si [R2/5-R4/1]	・EQ HV [H29/6-R2/4]
・ヴォクシー / ノア / エスクァイア [H29/7-R2/4]	・NO Si W × B [R2/5-R4/1]	・EQ Black-Tailored [H29/6-R2/4]
・VO [H29/7-R2/4]	・NO HV Si W × B [R2/5-R4/1]	・EQ HV Black-Tailored H29/6-R2/4
・VO ZS [H29/7-R2/4]	・NO Si GR SPORT [R2/5-]	
・VO ZS 煌 [H29/7-R2/4]	・NO [80系 H29/7-R2/4]	
・VO HV [H29/7-R2/4]	・NO Si [80系 H29/7-R2/4]	
・VO HV ZS [H29/7-R2/4]	・NO Si W × B [80系 H29/7-R2/4]	
・VO HV ZS 煌 [H29/7-R2/4]	・NO HV [80系 H29/7-R2/4]	
・VO ZS GR SPORT H29/9-R2/4	・NO HV Si [80系 H29/7-R2/4]	
	・NO HV Si W × B [80系 H29/7-R2/4]	
	・NO Si GR SPORT [H29/9-R2/4]	

※ヴォクシー……VO
ノア……………NO
エスクァイア……EQ

生産時期によって格納されている車種専用データは異なる場合があります。
最新の車種専用データはアルパインホームページからダウンロードできます。
<https://www.alpine.co.jp/support/download/>



【ご注意】

以下の場合のみ車種専用チューニングが必要となります。以下手順にて操作してください。

- ・初期設定の車種 / グレード以外に変更する場合。
- ・リアビジョンを追加する場合。
- ・初期設定以外のカメラ等のオプション品を取り付ける場合。



HCE-C20HD-RD/HCE-C2000RDシリーズ(マルチビュー・リアカメラ)については、ナビゲーションと接続時のみ接続設定できる仕様となっているため、車両への取付け後に必ず接続設定を行ってください。
※設定画面でHCE-C20HD-RD/HCE-C2000RDシリーズが表示されない場合は、カメラが正常に接続されているか確認してください。

■車種専用チューニングの手順

車種 / グレード、組み合わせる製品によって設定が異なります。以下手順にて操作してください。

【操作手順】

製品起動時に「ようこそ」画面が表示された場合は **はじめる** にタッチしてください。(車種専用チューニング画面へ移行します)
「ようこそ」画面が表示されない場合は以下手順で設定を行ってください。



1. **(A)** (メニュー)スイッチ ▶ **設定** ▶ **車種専用チューニング** ▶ **車種選択** ▶ **リストから選択**
2. メーカーを選択 ▶ **決定** ▶ 車種を選択 ▶ **決定**
3. 接続機器の設定 ▶ **決定**
 - ・カメラ接続 : リアカメラ カメラの製品名、または **カメラあり** **カメラなし**
【インターフェースボックス (別売) を使用して他のカメラを同時接続する場合】
 - ・インターフェースボックス リアカメラ接続 : カメラのモデル名 または **カメラなし**
 - ・インターフェースボックス サイドカメラ接続 : カメラのモデル名 または **カメラなし**
 - ・インターフェースボックス ルームカメラ接続 : **ルームカメラ あり** または **ルームカメラ なし**
 - ・サブウーファー : **あり** または **なし**
 - ・ステアリングリモコン : **設定する**
 - ・リアビジョン : **あり** または **なし**
※リアビジョン設定がある車種を選択し、リアビジョンリンク対応リアビジョンを設定している場合のみリアビジョン選択画面が表示されます。
4. 設定内容を確認 ▶ **決定** ▶ メッセージを確認 ▶ **はい**
5. 再起動後、設定した車種のオープニング画面で起動すれば設定終了です。

(令和4年11月現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

●インフォメーションセンター

<電話でのお問い合わせ>

TEL：0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
(携帯電話・PHS：20秒10円)

一部のIP電話など、接続できない場合は次の番号を
ご利用ください。

TEL：03-6704-4926、または03-6747-4221

<メールでのお問い合わせ>

ホームページのお問い合わせフォームより
受け付けています。



<FAXでのお問い合わせ>

FAX：045-522-8700

<LINEでのお問い合わせ>

「友だち追加」から友だち追加できます。
※LINEアカウントをお持ちでない場合には、
LINE会員登録が必要になります。



- 電話受付時間（土曜・日曜・祝日・弊社休業日を除く）
月曜～金曜 9：30～17：30
- アルパインホームページ <https://www.alpine.co.jp>
アルパイン製品に関してのご質問と回答をご紹介します。

修理ご相談窓口

●アルパインカスタマーズサービス（株）東日本サービスセンター

担当エリア	北海道/青森/岩手/秋田/山形/宮城/福島/栃木/茨城/群馬/東京/神奈川/埼玉/千葉/新潟/長野/山梨
営業時間	048-664-9711 受付時間：月～金曜日 9:30～17:30（日曜・祝日・弊社休業日を除く）
所在地	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2

●アルパインカスタマーズサービス（株）西日本サービスセンター

担当エリア	静岡/愛知/岐阜/三重/福井/富山/石川/滋賀/京都/大阪/和歌山/奈良/兵庫/岡山/島根/鳥取/広島/山口/香川/愛媛/徳島/高知/福岡/佐賀/大分/熊本/長崎/宮崎/鹿児島/沖縄
営業時間	06-6386-4130 受付時間：月～金曜日 9:30～17:30（日曜・祝日・弊社休業日を除く）
所在地	〒564-0044 大阪府吹田市南金田1-5-7